

# 我らの南

No.3



令和3年 8月9日

〒851-0245 TEL095-836-0085  
長崎市千々町513番地  
長崎市立南小学校長  
田川 雄一

## 学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成



## 8月9日 ながさき平和の日

今から76年前、昭和20年8月9日午前11時2分、長崎の浦上の地に原子爆弾が落とされました。一発の爆弾で、7万4千人もの人々が亡くなり、7万人以上の人々が被害を受けました。これは、その当時の長崎市の人口のおよそ3分の1にあたります。また、生き延びた人々の中には、放射線等の影響により、今なお、苦しんでおられる方がいます。長崎に生きる私たちは、この事実をしっかりと受け止めなければなりません。

戦後76年、あの戦争の時代を知る人も年々少なくなってきました。「戦争はいけない」「平和は大切だ」と言いながらも、どこかで他人事になってしまいがちです。そうした意味でも、8月9日のこの日を改めて平和について考える機会にしたいと思います。

南小学校では、平和祈念集会を行いました。6月から7月にかけて行った、キャンドルづくり、命の講話、標語作り、被爆体験講話などを踏まえて、一人ひとりが感じたこと、考えたことを発表しました。メッセージ性のある心に響く発表でした。YouTubeで限定配信を予定していますので、ぜひご覧下さい。(詳細については後日お知らせします。)

## 平和の祭典オリンピックに思う

平和の祭典オリンピック東京大会が幕を閉じました。「多様性と調和」が基本コンセプトの大会でしたが、これを象徴するような場面を見ました。スケートボード女子パークの競技です。日本の岡本選手が最後の演技でメダルをとるために高難易度の技に果敢にチャレンジしました。しかし、最終のジャンプに失敗し惜しくもメダルならず、4位となりました。感動的だったのはその後です。頭を抱え悔し涙を見せる岡本選手に、オーストラリア、アメリカなど他の選手たちが駆け寄り、みんなで担ぎ上げて健闘を称えたのです。国籍は関係なく、ライバル同士でありながらも、誰かがいい演技をするとみんなで喜び合い、失敗するとみんなで励まし合います。若い世代でそれが自然に行われています。素敵なことです。平和とは、こういうことをいうのかなと思った次第です。

## 育成協主催「看板づくり」

7月31日、育成協主催で「看板づくり」が行われました。みんなの力で「交通安全」を呼びかける素敵な看板ができています。ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

